

【修理を依頼する前に「故障かな?!と思ったら」(P.25)をご確認ください!】

修理・取り扱いのご相談は
まずお求めの取付店・販売店へ

取付店	〒		印
販売店		電話	—

転居や贈答品などでお求めの取付店・販売店へご相談できない場合は下記TOTO窓口へ

お客様専用窓口

東陶メンテナンス (株) へ

TEL ☎ 0120-1010-05

FAX ☎ 0120-1010-02

受付(年中無休)
 受付時間: 関東・甲信越地区 8:00~20:00
 上記以外の地区 9:00~20:00
 訪問修理(年中無休)
 営業時間: 9:00~18:00

TOTOパーツセンターへ

TEL ☎ 0120-8282-55

FAX ☎ 0120-8272-99

受付時間: 平日 9:00~18:00
 土・日・祝日 10:00~18:00
 (夏期休暇・年末年始を除く)

TOTOお客様相談室へ

TEL ☎ 0120-03-1010

FAX ☎ 0120-09-1010

受付時間: 平日 9:00~18:00
 土・日・祝日 10:00~18:00
 (夏期休暇・年末年始を除く)

修理のご用命は
(365日修理対応)

補修用性能部品のご購入は

その他(使い方などのお問い合わせ)

インターネットホームページ <http://www.toto.co.jp/>

再生紙を使用しています。

工事店さまへ
 のお願い

貴店名ならびに取付日を保証書にご記入のうえ、お客様にお渡しください。
 また、定期的に交換が必要な部品があることをお客様に必ずお伝えください。

サーモスタットバス水栓 (自動水止めタイプ)

TBW41L型・TBW41R型
 TBF41AL型・TBF41AR型



安全上の注意…………… 1～5
 各部のなまえ…………… 6

はじめに

ご使用前に…………… 7～9
 つかいかた…………… 10～14

つかいかた

■このたびは、TOTOサーモスタットバス水栓をお求めいただきまして、誠にありがとうございます。
 この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

日ごろのお手入れ… 15～22
 定期的な点検…………… 23
 定期的な部品交換のお願い… 24

お手入れ

■この取扱説明書は保証書付きですので大切に保存しておいてください。

故障かな?!と思ったら… 25～26
 アフターサービス… 27～28

こんなときは



適量ラベル

保証書……………30
 お問い合わせ先……………裏表紙



安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

ご使用前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。




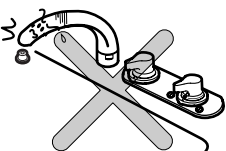
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保存してください。
- この説明書では、商品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や、財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示	意味
 警告	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または、物的損害が発生する可能性が有ることを示しています。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	⊘ は、してはいけない「禁止」内容です。左図は、「分解禁止」を示します。
	❗ は、必ず実行していただく「強制」内容です。左図は、「必ず実行」を示します。

品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

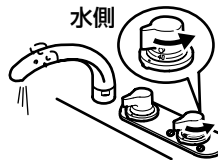
 警告		
 禁止	給湯温度は85℃より高温で使用しない 85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。	
	この商品を構成する部品以外の取り付けや、部品の取り外しなどの改造はしない 商品の性能を損ない、やけど・けがをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。	

 警告		
 禁止	小さい子供だけで使用させない やけど・けがをするおそれがあります。	
 分解禁止	この説明書に記載された項目以外は分解しない 破損して、やけど・けがをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。	
 接触禁止	高温の湯を使うときは、スパウトに直接、触れない スパウトは高温になっているのでやけどをするおそれがあります。	スパウト 
 必ず実行	湯水を使う前に、必ず手で適温であることを確かめる 高温の湯が出て、やけどをするおそれがあります。	OK! 
	温度調節ハンドルの温度位置を確かめて水を出す 高温の湯が出て、やけどをするおそれがあります。	

警告

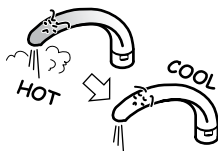
高温の湯を使ったあとは、必ず温度調節ハンドルの目盛りを"40"以下に戻す

次に使用する際、いきなり高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。



高温の湯を使ったあとは、しばらく水を流す

次に使用する際、水栓内に残っている高温の湯が出て、やけどをするおそれがあります。



温度調節ハンドルはゆっくり回す

温度調節ハンドルを急に回すと、温度が急上昇し、やけどをするおそれがあります。



定期的(年2回)に、配管まわりの水漏れや、ガタツキがないか確認する

劣化・摩耗などで部品が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。



逆止弁は安全を確保するために定期的に交換する

(P.24を参照してください)

逆止弁が正常に機能しないと、状況によっては、水栓から一度吐水した水が逆流するおそれがあります。また、水漏れなど予想しない事故の原因になります。



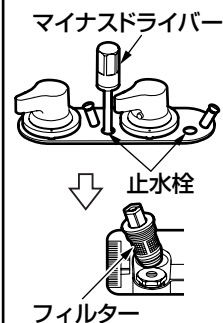
必ず実行

警告

**フィルターの掃除をする際は、いきなりフィルターをゆるめずに、必ず止水栓または配管部の元栓を閉めてから行う
また、湯側フィルター部分が熱くないことを確認する**

(P.17を参照してください)

高温の湯が出て、やけどをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。



必ず実行

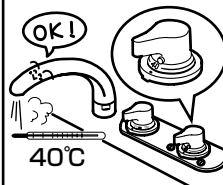
**給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧にする
また、湯側を加圧する場合でも、必ず湯側圧力を水側より低くする**

給湯圧力を給水圧力より高くすると、正常な温度調節ができなくなり、やけどをするおそれがあります。

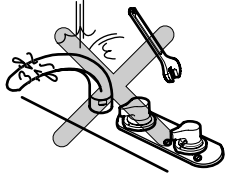
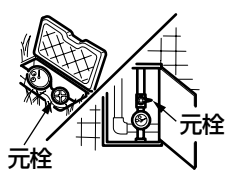


万一、凍結した場合は、温度調節ハンドルの目盛り"40"と吐水温度がっているか確認する

凍結すると、設定温度がずれてやけどをするおそれがあります。

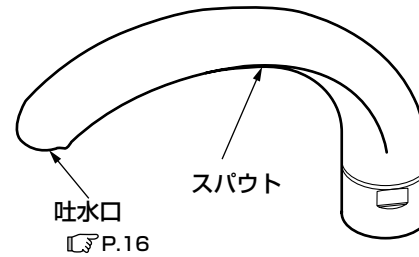


各部のなまえ

⚠ 注意	
<div style="font-size: 2em;">⊘</div> 禁止	強い力や衝撃を与えない 破損して、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。 
	凍結が予想される場所で設置しない 部品が破損し、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。凍結による破損は保証期間内でも有料修理となります。凍結のおそれがある場合は、水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。 
<div style="font-size: 2em;">!</div> 必ず実行	定量ハンドルはゆっくり操作する 急に閉めると「ドン」という音がして配管に衝撃が加わり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。 
	長期間使用しないときは、止水栓または配管部の元栓を閉める 水漏れなど予想しない事故の原因になります。 

TBW41R型 (TBW41L型は、本図と逆勝手になります)

滝状吐水タイプ

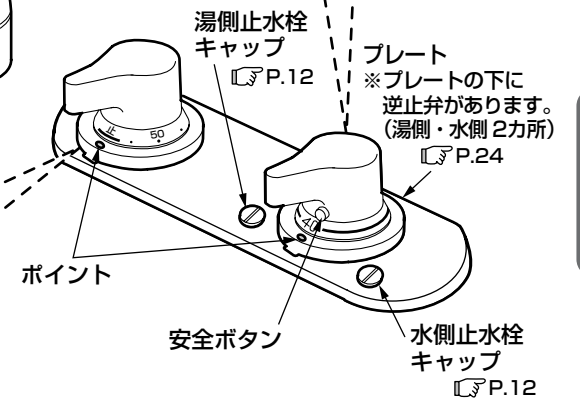


温度調節ハンドル

温度調節ハンドルの操作ひとつで、お望みの温度に変えられます。使用中に給水・給湯圧力が変わっても吐水温度をほぼ一定に自動調節します。

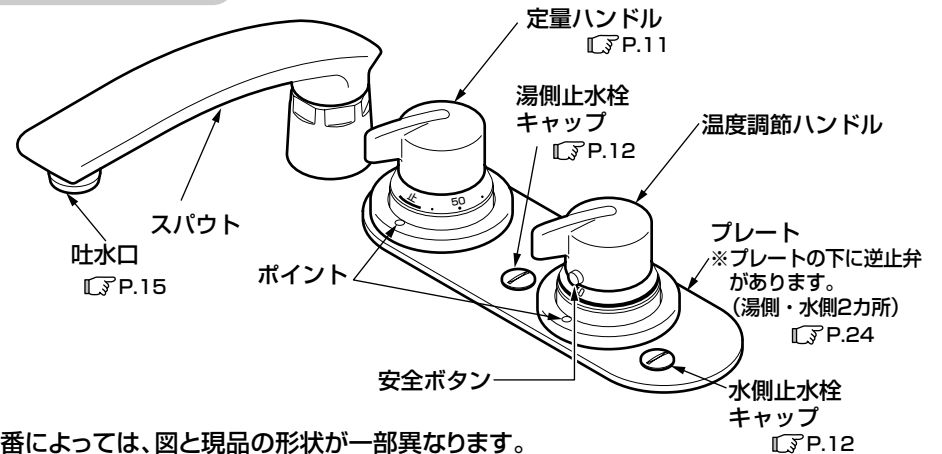
定量ハンドル

希望湯量の目盛に設定すれば、その量だけ水を出し、自動的に止まります。☞ P.11
さし湯、さし水など通常の開閉ハンドルとしても使用できます。☞ P.11



TBF41AR型 (TBF41AL型は、本図と逆勝手になります)

ストレート吐水タイプ

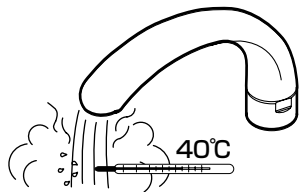
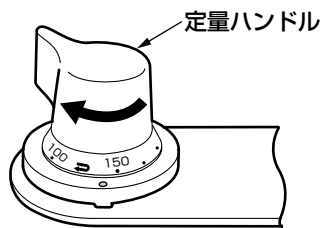
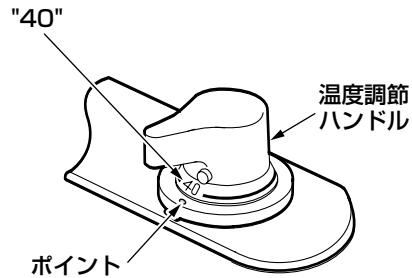


※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

ご使用前に

吐水温度の確認

温度調節ハンドルは工場で設定していますが使用条件（給水・給湯圧力、給湯温度）が異なると、表示どおりの吐水温度にならないことがあります。吐水温度が表示どおりになっているか以下の要領で確かめてください。



1. 給湯機の給湯温度を設定する。

給湯機の給湯温度は吐水温度より10°C以上高く設定してください。例えば、40°Cの湯を出したい場合、給湯機の設定温度は50°C以上に設定してください。誤操作などによるやけど防止のため、60°C給湯をおすすめします。

2. 温度調節ハンドルの目盛り"40"をポイントに合わせる。

3. 定量ハンドルを時計回りに回す。

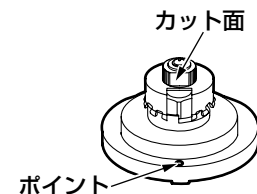
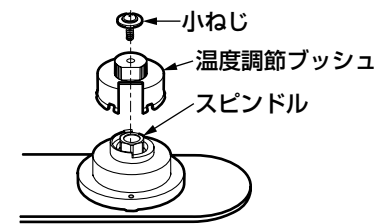
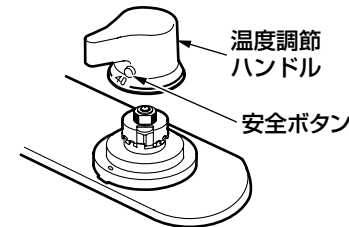
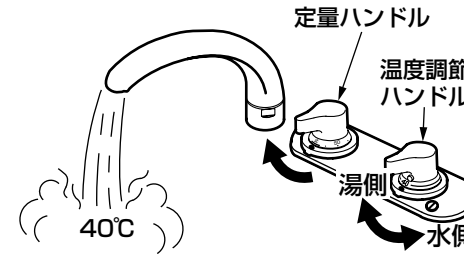
スパウトから水が出ます。

4. 吐水温度を確認する。

吐水温度が適温（およそ40°C）であればそのままご使用いただけます。吐水温度が適温からずれている場合は、P.8を参照し、設定し直してください。

温度調節ハンドルの設定

※吐水温度が表示どおりになっていないときに行ってください。



1. 定量ハンドルを時計回りに回す。
スパウトから水が出ます。
2. 温度調節ハンドルを目盛り"40"に関係なく40°Cの湯が出る位置まで回す。

温度調節ハンドルは目盛り"40"付近でロックされますので、これより高温の湯を出したいときは、安全ボタンを押しながら回してください。

3. 温度調節ハンドルを外す。
温度調節ハンドルが回らないように注意してハンドルを抜き取ってください。

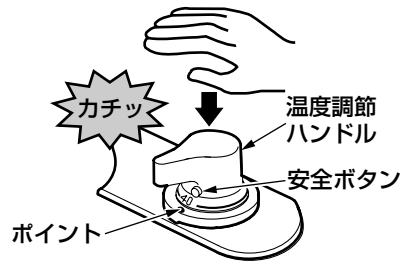
豆知識

ハンドルははめ込み式のため、強く引くと抜けます。抜けない場合は、傷が付かないようにレバー部を軽くたたいてください。

4. 温度調節ブッシュを外す。
小ねじ、温度調節ブッシュをスピンドルが回らないように注意して外してください。
5. 温度調節ブッシュを取り付ける。

温度調節ブッシュのカット面を、ポイントに合わせてはめ込み、小ねじで固定してください。

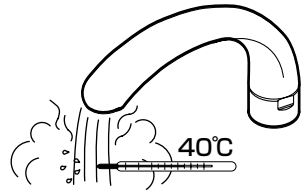
温度調節のしかた



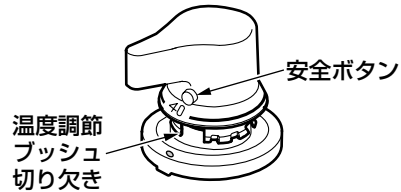
6. 温度調節ハンドルを取り付ける。

温度調節ハンドルの安全ボタンと本体のポイントに合わせて、温度調節ハンドルを「カチッ」と音がするまで押し込んでください。

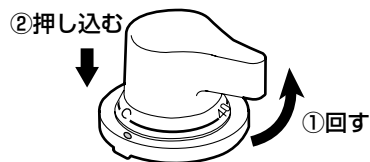
7. 固定後に40℃の湯が出ているか確認する。



※温度調節ハンドルを組み込む際、押し込みづらい場合には、安全ボタンを押しながらハンドルを押し込むか、または下記の手順で組み込んでください。

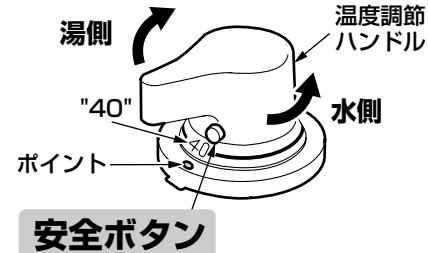


1. 温度調節ブッシュの切り欠きと、安全ボタンを合わせて、温度調節ハンドルを差し込み、温度調節ブッシュの上に仮のせする。



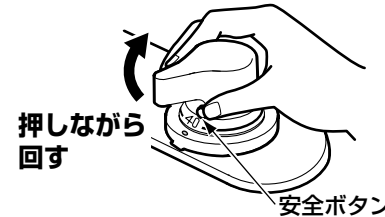
2. そのまま温度調節ハンドルを、反時計回りに回してから、「カチッ」と音がするまで押し込む。

※温度調節ブッシュは必ずスピンドルにねじ止めしてから、温度調節ハンドルを取り付けてください。直接ブッシュをハンドルに組み込むと取り付けできません。誤って取り付けた場合にはP.14を参照しながら、同様の手順で引き抜いてください。



温度調節ハンドルを回す。

目盛り"40"を目安とし、好みの温度をポイントに合わせてください。



40℃以上の湯を出すには

安全ボタンを押しながら回す。

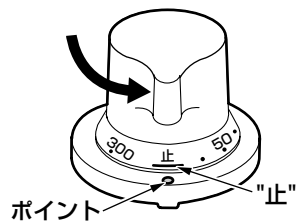
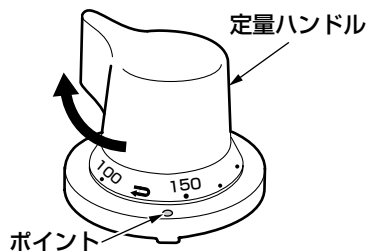
安全ボタンを押して高温を使用された場合は、ハンドルを必ず目盛り"40"以下に戻しておいてください。



豆知識

誤操作などによるやけど防止のため、60℃給湯をおすすめします。

水(湯)を出す・止める



水を出す

定量ハンドルを時計回りに回す。

定量ハンドルを時計回りに回し、ご希望の目盛りをポイントに合わせてください。

120以下の目盛りに設定するときは、一度 ←印以上回してから戻して設定してください。

※ハンドルの数値がおよその湯量を示します。

(例:150=150L)

設定位置については一度湯をためてみて、浴槽の適量を確認してください。

途中で水を止める

定量ハンドルの目盛りがポイントの位置で"止"になるまで戻す。

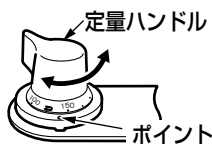
水が止まります。

※定量ハンドルはゆっくり操作してください。ウォーターハンマー現象が発生するおそれがあります。

豆知識

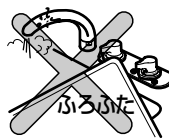
- 120(約120L)以下に設定するときは、←印以上回してから設定してください。

湯量を120(約120L)以下に設定するときは、必ず定量ハンドルを ←印以上回してからご希望の目盛りに戻して合わせてください。そのまま120以下の目盛りに合わせると、自動止水しないことがあります。



- 自動吐水時は定量ハンドルの自動回転を妨げないでください。

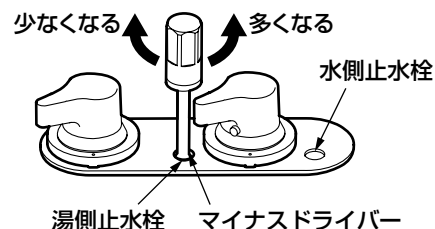
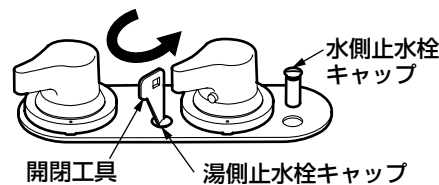
自動吐水時は定量ハンドルがゆっくりと自動回転しますので、その動きを妨げないようにしてください。動きを妨げると、湯量が多くなったり自動止水しなくなります。(ふるふたなどが定量ハンドルに当たらないようにしてください。)



- 「ウォーターハンマー現象」とは、急に水を止めたときに「ドン」という大きな音をする現象で、水栓の不具合ではありません。配管の損傷や水漏れの原因となる場合がありますのでご注意ください。

止水栓による流量調節

流量が多すぎる場合などに、止水栓でお好みの量に調節できます。



1. 開閉工具またはマイナスドライバーで止水栓キャップを外す。

2. マイナスドライバーを奥まで差し込み、止水栓を回す。

時計回りに回すと流量が少なくなり、反時計回りに回すと多くなります。

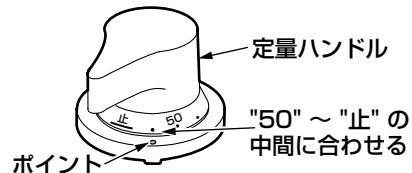
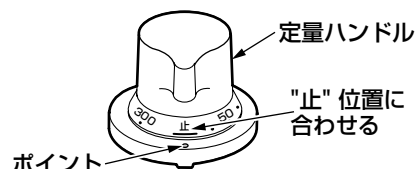
※流量を極端に絞らないでください。あまり極端に絞ると流量の感知精度が悪くなったり自動止水しないことがあります。目盛り150(約150L)のとき、少なくとも30分以内で水が止まる程度の流量でご使用ください。

最大設定量の調節

定量ハンドルの最大設定量を目盛り250(約250L)に設定していますが、最大目盛り300(約300L)まで設定できます。

また、最大設定量を調節しておくとお変便利です。

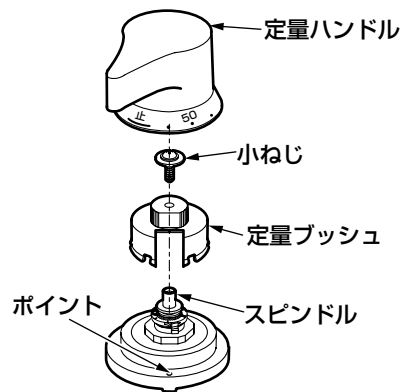
設定量を調節する前に、実際に浴槽へ湯または水をためて適量を確認し、次の要領で調節してください。



1. マイナスドライバーなどで湯側・水側の止水栓または元栓を閉める。

2. 定量ハンドルの目盛りがポイント位置で"止"になっていることを確認する。

3. 定量ハンドルの目盛り"50" ~ "止"の中間をポイントに合わせる。



4. 定量ハンドルを外す。

定量ハンドルが回らないように注意してハンドルを外してください。

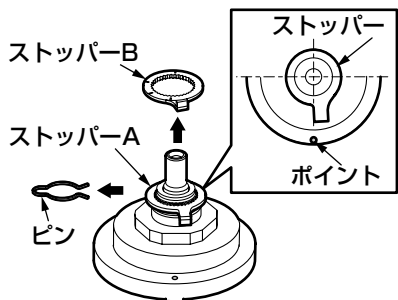


豆知識

ハンドルははめ込み式のため、強く引くと抜けます。抜けない場合は、傷が付かないようにレバー部を下から軽くたたいてください。

5. 定量ブッシュを外す。

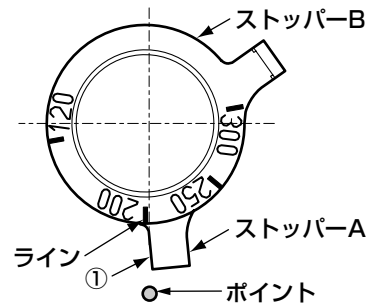
小ねじ、定量ブッシュをスピンドルが回らないように注意して外してください。



6. ピンを抜いて、ストッパーBを外す。

※このときストッパー-Aは外さないでください。もし外れた場合は、ポイントに対して図のように合わせて入れてください。本体に突起合わせのラベルを貼り付けている商品は、ストッパー-Aをラベルの位置に合わせて入れてください。

約200Lに合わせた場合

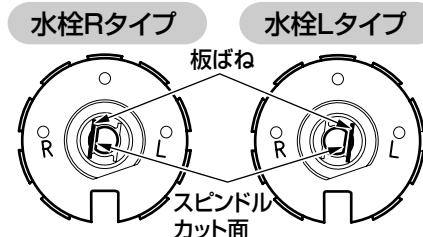


7. ストッパーBを適量位置にセットし、ピンで固定する。

ストッパーBの数字はおよその湯量(L)を示します。数字は50単位になっていますが10単位の設定が可能です。

ストッパーAの端面①とストッパーBの数字を合わせてください。

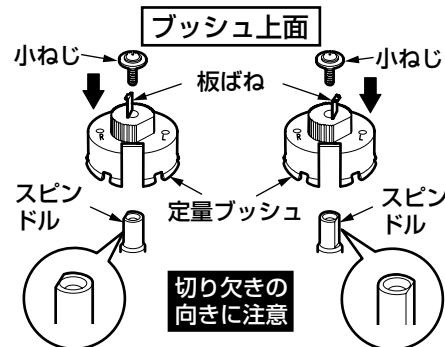
※ストッパーBを120以下にセットしないでください。自動止水しくなくなります。



8. 定量ブッシュをスピンドルにはめ込む。

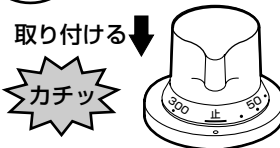
スピンドルのカット面とブッシュの板ばね位置を合わせてはめ込みます。

※定量ブッシュをはめ込む際、板ばねが外れた場合には、左図の向きに合わせて、板ばねを元どおりに手で押し込んでください。



9. 定量ブッシュを小ねじで固定する。

※定量ブッシュを必ずスピンドルにねじ止めしてから、定量ハンドルを取り付けてください。直接定量ブッシュをハンドルに組み込むと取り付けできません。



10. 定量ハンドルを定量ブッシュのカット面に合わせて取り付ける。

ハンドルははめ込み式のため、「カチッ」と音がするまで押し込んでください。

※誤って取り付け際にはハンドル取付用ブッシュ内側のリブ(4カ所)をラジオペンチなどで引っ張るか、穴にくぎやタッピンねじなどを通し、引っ張って外してください。



11. 止水栓または元栓を開ける。

豆知識

<適量ラベル>

最大設定量を調節しない場合でも、浴槽に湯をためるとき合わせる目盛りの上に適量ラベルを貼っておくと便利です。



表紙に添付している適量ラベルを設定量の目盛りの上に貼り付ける。

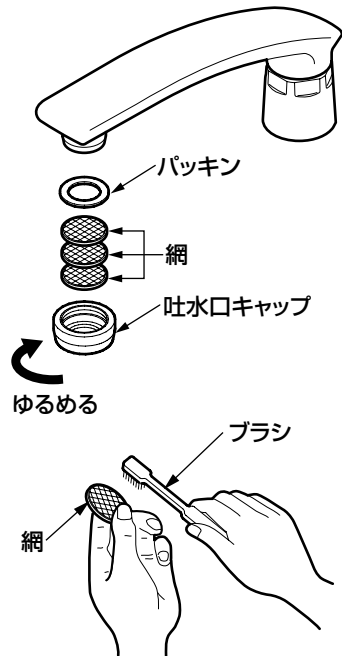
※貼るときは、表面の汚れや水分をよくふき取ってください。

日ごろのお手入れ

十分な機能を発揮させるため、また、美しく衛生的にご使用いただくために日ごろのお手入れをお願いいたします。

吐水口のお手入れ

ストレート吐水タイプ



1. 吐水口キャップを回して外す。

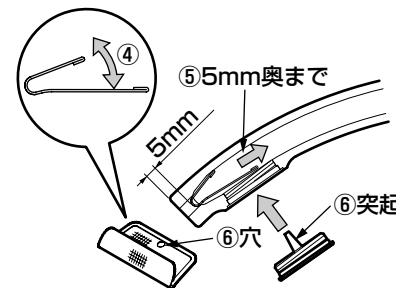
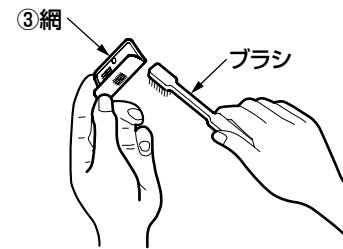
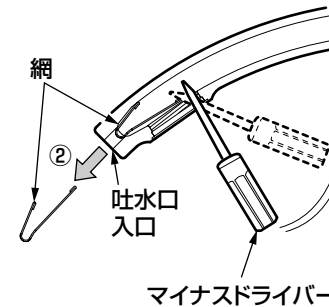
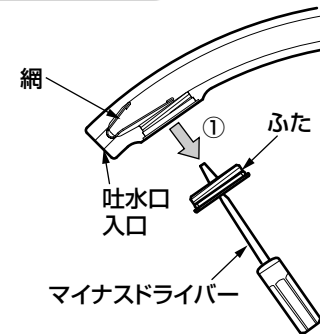
外れないときはゴム手袋などを使用して外してください。

2. 吐水口キャップや網に詰まったごみや汚れをブラシなどで取り除く。

3. 吐水口キャップに網とパッキンを入れ、取り付ける。

※分解するときは、部品を紛失しないように注意してください。

滝状吐水タイプ



1. マイナスドライバーなどでふたを外す。

2. 網を押し出す。

網をドライバーの先などで吐水口の方へ押し出してください。

3. 網目に詰まったごみや汚れをブラシなどで取り除く。

4. 網を組み込む前に、網の折曲げ部分を少し開いて張りを持たせる。

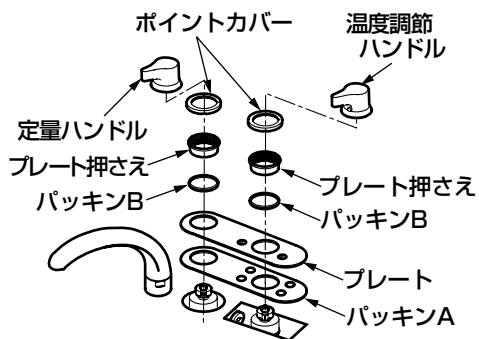
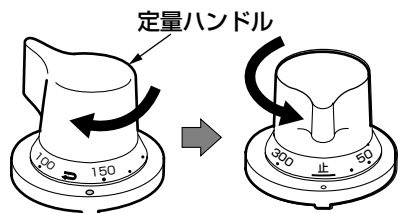
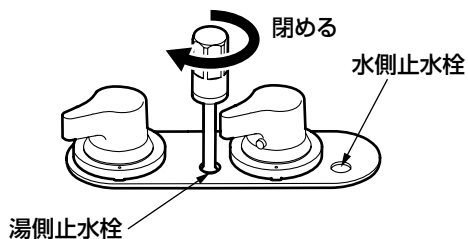
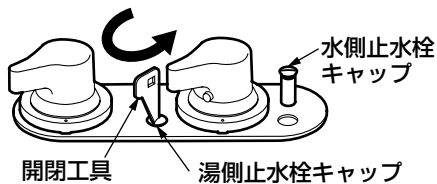
5. 網を押し込む。

吐水口の方から網を入れますが、入れる際は吐水口入口から5mmほど奥まで押し込んでください。

6. ふたをねじ込む。

ふたをねじ込む際は、網の飛出しを防ぐため網の穴にふたの突起を通してください。

フィルターのお手入れ



1. 開閉工具またはマイナスドライバーで止水栓キャップを外す。

2. マイナスドライバーなどで湯側・水側の止水栓を閉める。

3. 定量ハンドルを時計回りへ回し、スパウトから水が出ないことを確認する。

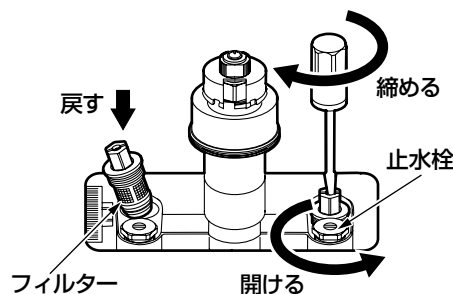
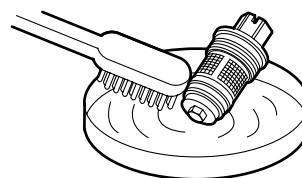
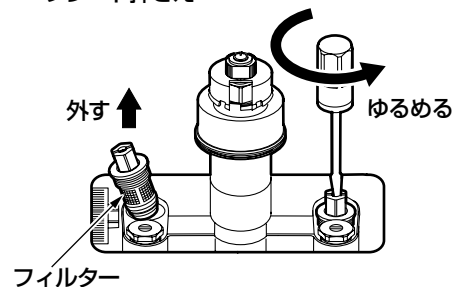
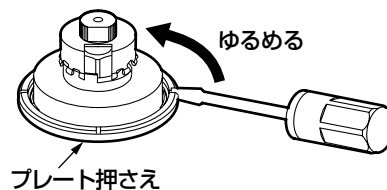
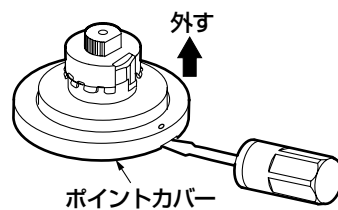
4. 定量ハンドルを反時計回りへ止まるまで回す。

5. 定量ハンドル・温度調節ハンドル・ポイントカバー・プレート押さえなどを取り外す。



豆知識

ハンドルははめ込み式のため、強く引くと抜けます。抜けない場合は、傷が付かないようにレバー部を軽くたたいてください。



●ポイントカバーが外れない場合
ポイントカバーの下のすき間にマイナスドライバーを差し込んで取り外してください。

●プレート押さえが外れない場合
外周溝にマイナスドライバーを差し込んでゆるめてください。

6. マイナスドライバーを溝に差し込み、フィルターをゆるめて取り出す。

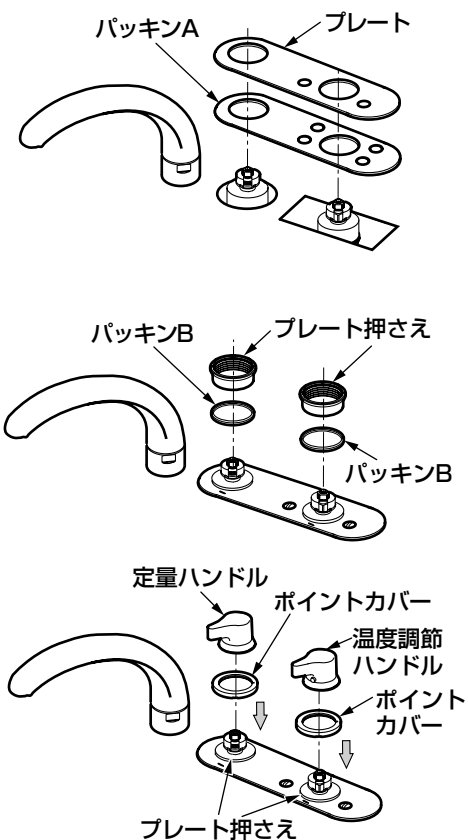
※フィルターは、湯側・水側の2カ所あります。

※湯側フィルター部が熱くないことを確認してください。

※フィルター部の周囲のごみは、取り除いてください。

7. フィルターの網目に詰まったごみや汚れをブラシなどで取り除く。

8. フィルターを取り付け、止水栓を開ける。



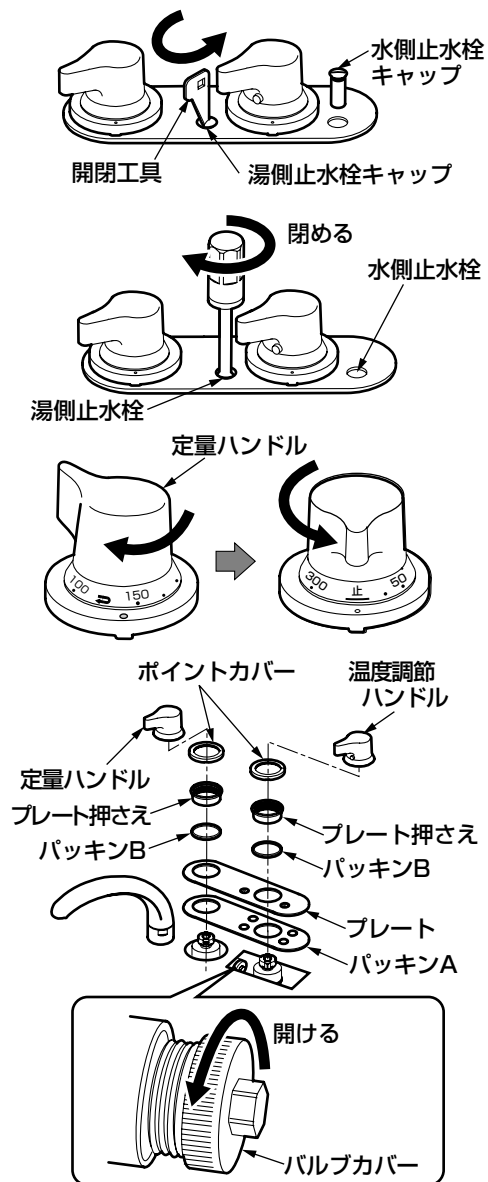
9. パッキンA・プレートをかぶせる。

10. プレート押さえにパッキンBを入れてねじ込む。

11. プレート押さえにポイントカバーをかぶせ、ハンドルを取り付ける。

※器具内の残水が流れ出てきた場合には、ぞうきんでふき取ってください。

自動バルブのお手入れ



1. 開閉工具またはマイナスドライバーで止水栓キャップを外す。

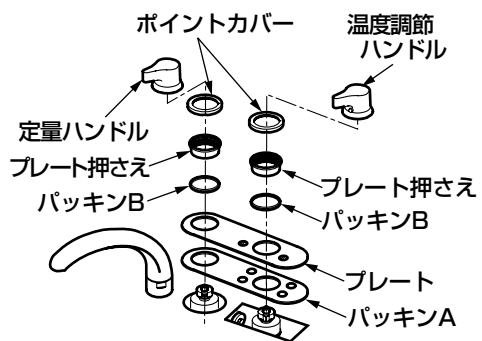
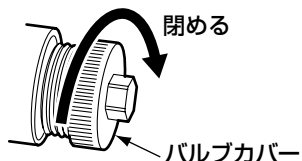
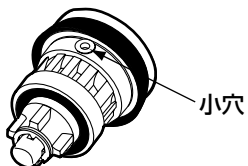
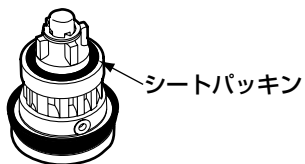
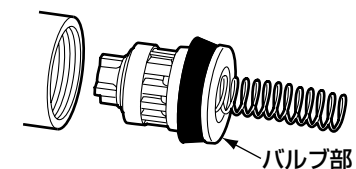
2. マイナスドライバーで湯側・水側の止水栓を閉める。

3. 定量ハンドルを時計回りへ回し、スパウトから水が出ないことを確認する。

4. 定量ハンドルを反時計回りへ止まるまで回す。

5. 定量ハンドル・温度調節ハンドル・ポイントカバー・プレート押さえなどを取り外す。

6. バルブカバーをスパナなどの工具を使用して開ける。



7. バルブ部を取り出す。

8. シートパッキンにごみかみがないか調べる。

9. 小穴が詰まっていたら細い針金で掃除する。(荷札の針金など)

11. バルブ部を水洗いしたあと、元どおりにおさめ、バルブカバーをスパナなどで閉める。

10. 湯側・水側の止水栓または元栓を開けプレートやハンドルなどを取り付ける。

※水栓内の残水が流れ出てきた場合には、ぞうきんでふき取ってください。

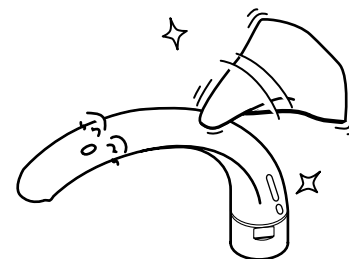
布を使用したお手入れ

●軽い汚れの場合

水またはぬるま湯に浸した布をよく絞って汚れをふき取ってください。

●ひどい汚れの場合

適量にうすめた食器用中性洗剤を含ませた布で汚れをふき取ったあと、水洗いし、からぶきしてください。



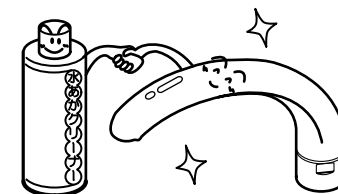
TOTO水あかクリーナーでのお手入れ

水栓の表面に付着した水あかなどの汚れ落としには水栓に傷をつけずに汚れを効果的に除去できるTOTO水あかクリーナーのご使用をおすすめします。

お求めに関するお問い合わせ先：
TOTOショールームまたはTOTOパーツセンター

商品番号：TH735
容量：260g

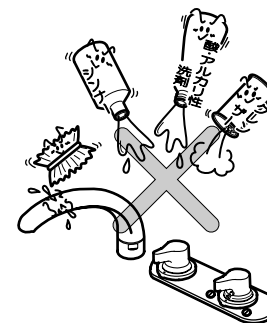
※仕様・品番は変更する場合がありますのでご了承ください。



お願い

水栓の表面を傷つけるものは使用しないでください。

- TOTO水あかクリーナー以外の酸性洗剤、塩素系漂白剤、アルカリ性洗剤
- シンナー、ベンジンなどの溶剤
- クレンザー、磨き粉など、粗い粒子を含んだ洗剤
- ナイロンたわし、たわし、ブラシなど



定期的な点検

安全・快適にご使用いただくために、以下の点検をお願いします。

配管まわりの水漏れ (年2回)

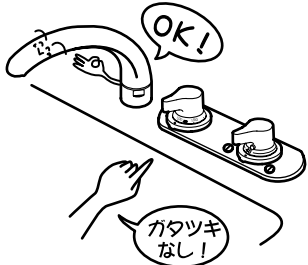


配管まわりの水漏れがないか確認する。

劣化・摩耗などで部品が破損し、けがをしたり、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

水漏れしている場合は、止水栓または元栓を閉め(P.25参照)、お求めの取付店・販売店または東陶メンテナンス(株)へ修理をご依頼ください。

本体部のガタツキ (年2回)

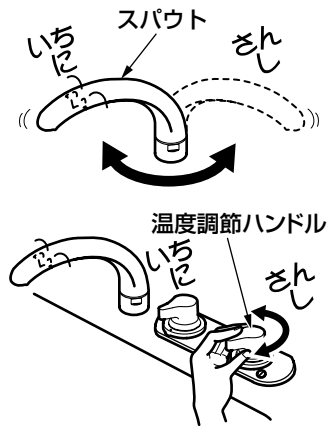


本体部のガタツキを確認する。

本体部にガタツキがあるままお使いになると、配管に負荷がかかり、水漏れの原因になります。

本体部にガタツキがある場合は、お求めの取付店・販売店または東陶メンテナンス(株)へ修理をご依頼ください。

スパウト・温度調節ハンドルの操作性 (月1回)



ときどきスパウト・温度調節ハンドルを回す。

- スパウトを長期間回さずに使用すると、回転部に水あかなどが付着し、回りにくくなります。無理に回そうとすると、配管に負荷がかかり、水漏れの原因になります。
- 温度調節ハンドルを長期間回さずに使用すると機能部に水あかなどが付着し、温度調節機能が損なわれるおそれがあります。

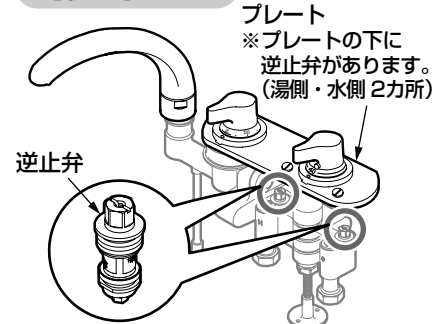
動きが悪い場合は、お求めの取付店・販売店または東陶メンテナンス(株)へ修理をご依頼ください。

定期的な部品交換のお願い

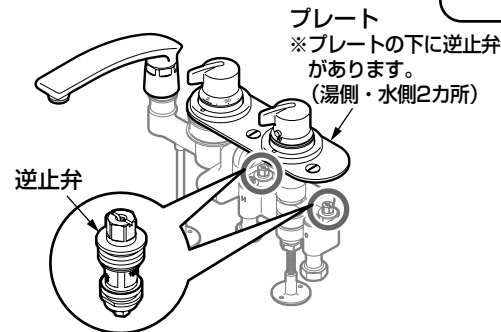
安全・快適にご使用いただくために、以下について定期的に部品の交換が必要です。

逆止弁の交換

滝状吐水タイプ



ストレート吐水タイプ



逆止弁が正常に機能しないと、状況によっては、水栓から一度吐水した水が逆流するおそれがあります。また、水漏れなど予想しない事故の原因になります。

逆止弁の交換は、お求めの取付店・販売店、または東陶メンテナンス(株)へ依頼してください。

東陶メンテナンス(株)にご依頼の場合、修理料金は、**技術料** + **部品代** + **出張料**がかかります。

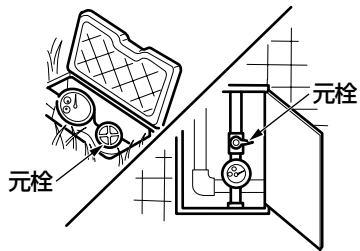
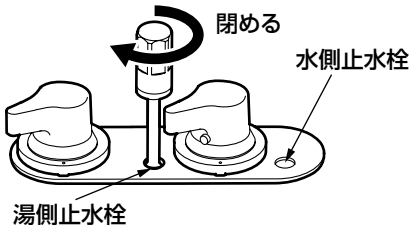
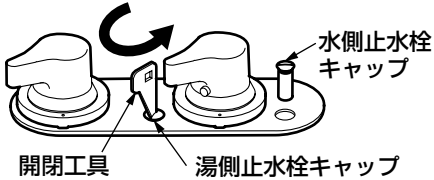
※ご依頼されたアフターサービスの履歴をメモしておくとう便利です。

年月日	サービス内容	担当者

故障かな?!と思ったら

緊急時の水の止め方

配管まわりの水漏れや、水が止まらないなど、緊急を要するときは下図の要領で止水栓または元栓を閉めてください。



1. 開閉工具またはマイナスドライバーで止水栓キャップを外す。
2. マイナスドライバーを奥まで差し込み、止水栓を閉める。
3. それでも止まらない場合は元栓を閉める。

● 次のような場合は、故障ではありません。修理を依頼される前に以下のことをお調べになり、それでも直らないときは、お求めの取付店・販売店、または東陶メンテナンス(株)へ修理を依頼してください。詳しくはアフターサービス(P.27)をご確認ください。

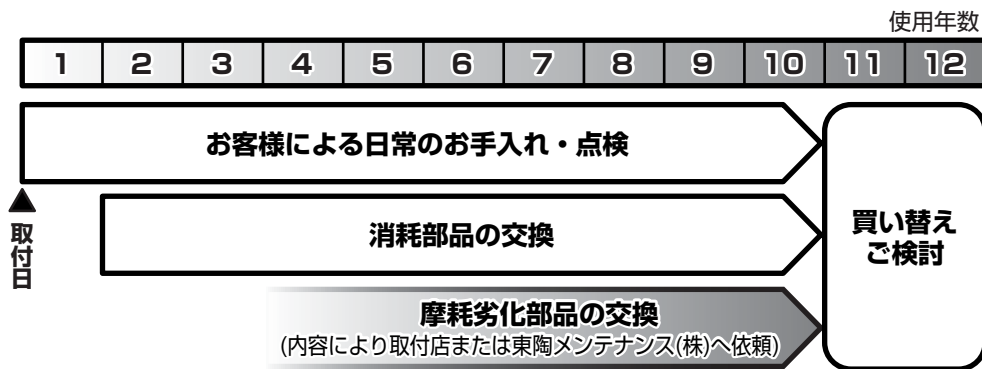
修理を依頼される前に			
現象	お調べいただくところ	処置のしかた	参照ページ
水が止まらない	定量ハンドルの目盛り"止"がポイント位置とずれていませんか。	定量ハンドルの目盛りを確認する。	11ページ
	定量ハンドルの動きを妨げていませんか。	定量ハンドルまわりを確認する。	11ページ

修理を依頼される前に

現象	お調べいただくところ	処置のしかた	参照ページ
水が止まらない	シート部にゴミが付着していませんか。	自動バルブの掃除をする。	20・21ページ
	バルブの小穴が目詰まりしていませんか。	自動バルブの掃除をする。	20・21ページ
流量が少ない	止水栓は十分に開いていますか。	止水栓で流量を調節する。	12ページ
	吐水口・フィルターの目詰まりはありませんか。	吐水口・フィルターの掃除をする。	15~19ページ
	ガス給湯機と組み合わせてご使用の場合、能力切替式のものでは適正能力にセットされていますか。	ガス給湯機の能力を適正能力にセットする。	—
高温しか出ない	水側の止水栓は十分に開いていますか。	止水栓で流量を調節する。	12ページ
低温しか出ない	給湯機から十分な湯がきていますか?	給湯機の設定温度・作動を確認する。	7ページ
	湯側の止水栓は十分に開いていますか。	止水栓で流量を調節する。	12ページ
温度調節がうまくできない	湯側・水側の止水栓は十分に開いていますか。	止水栓で流量を調節する。	12ページ
	給湯機から十分な湯がきていますか?	給湯機の設定温度・作動を確認する。	7ページ
	温度調節ハンドルの設定は合っていますか。	温度調節ハンドルの設定を確認する。	8・9ページ
	吐水口・フィルターの目詰まりはありませんか。	吐水口・フィルターの掃除をする。	15~19ページ
湯量が大きく違う	湯量の設定を間違えていませんか。	定量ハンドルの目盛りを確認する。	11ページ
	定量ハンドルの動きを妨げていませんか。	定量ハンドルまわりを確認する。	11ページ

止水栓の位置がわからない場合は、「各部のなまえ」(P.6)を参照してください。

アフターサービス



【修理を依頼する前に「故障かな? ! と思ったら」(P.25)をご確認ください!】

保証書 (この説明書のP.30が保証書になっています)

- この商品は保証書の内容に従って保証されています。取付日、取付店 (または販売店) 名、扱者印が記入してあることを確認してください。また、保証書の内容をよくお読みのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は保証書をご確認ください。

保証について

- 保証期間中は
保証書の規定に従って、修理をさせていただきます。保証期間内でも有料になることがありますので保証書の内容をよくご確認ください。例えば、「取扱説明書、施工説明書、貼付ラベルなどの注意書きに従っていない場合の不具合など」は有料になります。
- 保証期間を過ぎているときは
修理すれば使用できる商品については、ご希望により有料で修理させていただきます。
→「修理を依頼されるときは」「修理料金のしくみ」(P.28)をご確認ください。

部品の交換について

無料修理により交換された交換前の部品・商品は東陶機器(株)の所有となります。

補修用性能部品の供給期間

この商品の補修用性能部品 (機能維持に不可欠な部品で、使用期間中に取り替えの必要が発生する可能性の大きいもの) の供給期間は製造中止後10年です。

摩耗・劣化する部品の交換

- バルブやパッキンが摩耗・劣化すると水漏れの原因となります。この場合、該当部品の交換が必要です。
- 摩耗・劣化部品の交換は、お求めの取付店・販売店、または東陶メンテナンス(株)へ依頼してください。

修理を依頼されるときは

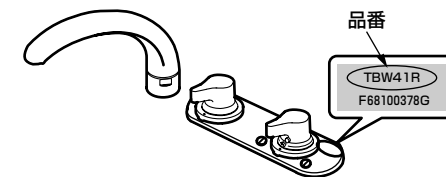
【修理依頼先】

お求めの取付店・販売店または東陶メンテナンス(株)

【ご連絡いただきたい内容】

- ①住所、氏名、電話番号
- ②商品名 ③品番 ④取付日
- ⑤故障内容、異常の状況 (どこから水漏れしているかなど)
- ⑥訪問希望日

品番は○部分に貼っているラベルでご確認ください。



【お客様の個人情報のお取り扱い】

お客様からお預かりした個人情報は、関連法令および社内諸規定に基づき、慎重かつ適切にお取り扱いします。
詳細は、TOTOホームページ (<http://www.toto.co.jp/>) をご覧ください。

【ご不明な点や修理に関するお問い合わせ先】

「TOTOお客様相談室」または「東陶メンテナンス(株)」

修理料金のしくみ<東陶メンテナンス(株)にご依頼の場合>

修理料金は **技術料** + **部品代** + **出張料** で構成されています。

技術料 は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品代です。

出張料 は、商品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

TOTO®

水栓金具保証書

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。取付日から下記期間中、故障が発生した場合は本書をご提示のうえ、取付店（または販売店）、または東陶メンテナンス(株) (TEL ☎ 0120-1010-05 FAX ☎ 0120-1010-02) に修理をご依頼ください。

お客様	おなまえ	様
	おところ 〒	
取付店 販売店	〒	印
	電話	-
取付日/ご購入日	年	月 日

商品名	サーモスタットバス水栓 (自動水止めタイプ)
品番	TBW41L型・TBW41R型 TBF41AL型・TBF41AR型
保証期間	取付日/ご購入日から2カ年
用途	一般住宅浴室用

★お客様へ

・この保証書をお受け取りになるときに、取付日、取付店（または販売店）名、扱者印が記入してあることを確認してください。保証書は再発行いたしませんので紛失されないよう大切に保存してください。なお、本書は日本国内においてのみ有効です。

・保証期間中でも、次の場合は有料修理になります。

- (1) 上記用途以外で使用した場合の不具合。
- (2) 適切な使用、維持管理を行わなかったことに起因する不具合。
- (3) 弊社が定める施工説明書などに基かない施工、専門業者以外による分解などに起因する不具合。
- (4) 建築躯体の変形などに起因する商品の不具合。
- (5) 塗装の色あせなどの経年変化または使用に伴う摩耗などにより生じる外観上の不具合。
- (6) 金属の腐食しやすい環境（海岸付近、温泉地など）に起因する不具合。
- (7) ねずみなどの動物や昆虫が噛んだり、動物や昆虫の死骸が本商品内に残留することなどに起因する不具合。
- (8) 火災、落雷、地震、噴火、洪水、津波など天変地異または破壊行為による不具合。
- (9) 電気製品における異常電圧、指定外の使用電源（電圧・周波数）および送電線・周辺器具など外部から発生する電磁波に起因する不具合。
- (10) 部品（乾電池など）の消耗による不具合。
- (11) 日常のお手入れ箇所（フィルターなど）や水抜栓などのOリングやパッキンの摩耗・劣化による不具合。
- (12) 砂やごみなどの配管内流入、および水あか固着に起因する不具合。
- (13) 水道に関する国の基準（水道法）に定められた飲料水の水质基準に適合しない水を給水したことに起因する不具合。
- (14) 凍結に起因する不具合。
- (15) 本書の提示がない場合。
- (16) 本書にお客様名、取付日、取付店（または販売店）名、扱者印の記入のない場合。

・部品の交換について

無料修理により交換された交換前の部品・商品は、東陶機器（株）の所有となります。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。

したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、「取扱説明書」に記載のお客様相談室または東陶メンテナンス(株)にお問い合わせください。

東陶機器株式会社

〒802-8601 福岡県北九州市小倉北区中島2-1-1
お客様相談室 TEL ☎ 0120-03-1010 FAX ☎ 0120-09-1010